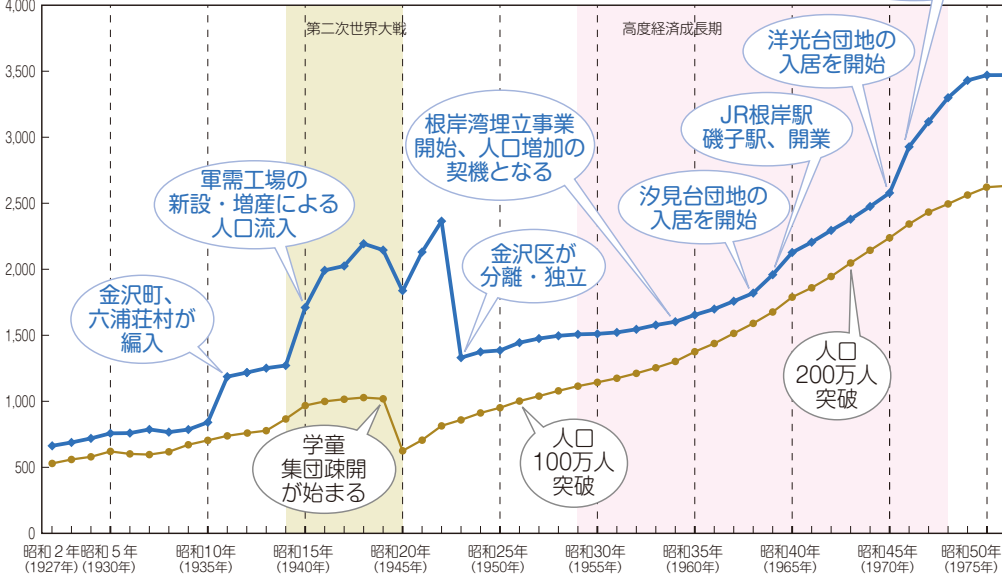


人口

◆横浜市と磯子区の人口の推移

【横浜市】

(千人)



保土ケ谷区・磯子区が誕生(昭和2年)
 ニューヨーク株式大暴落、世界恐慌始まる(昭和4年)
 区制施行により鶴見区・神奈川区・中区・

港北区・戸塚区が誕生(昭和14年)

横浜大空襲(昭和20年)
 西区誕生(昭和19年)
 南区誕生(昭和18年)

磯子区の一部が分区し、金沢区が誕生(昭和23年)

テレビ放送開始(昭和28年)

磯子消防署・磯子公会堂新築落成(昭和32年)
 横浜開港100年(昭和33年)

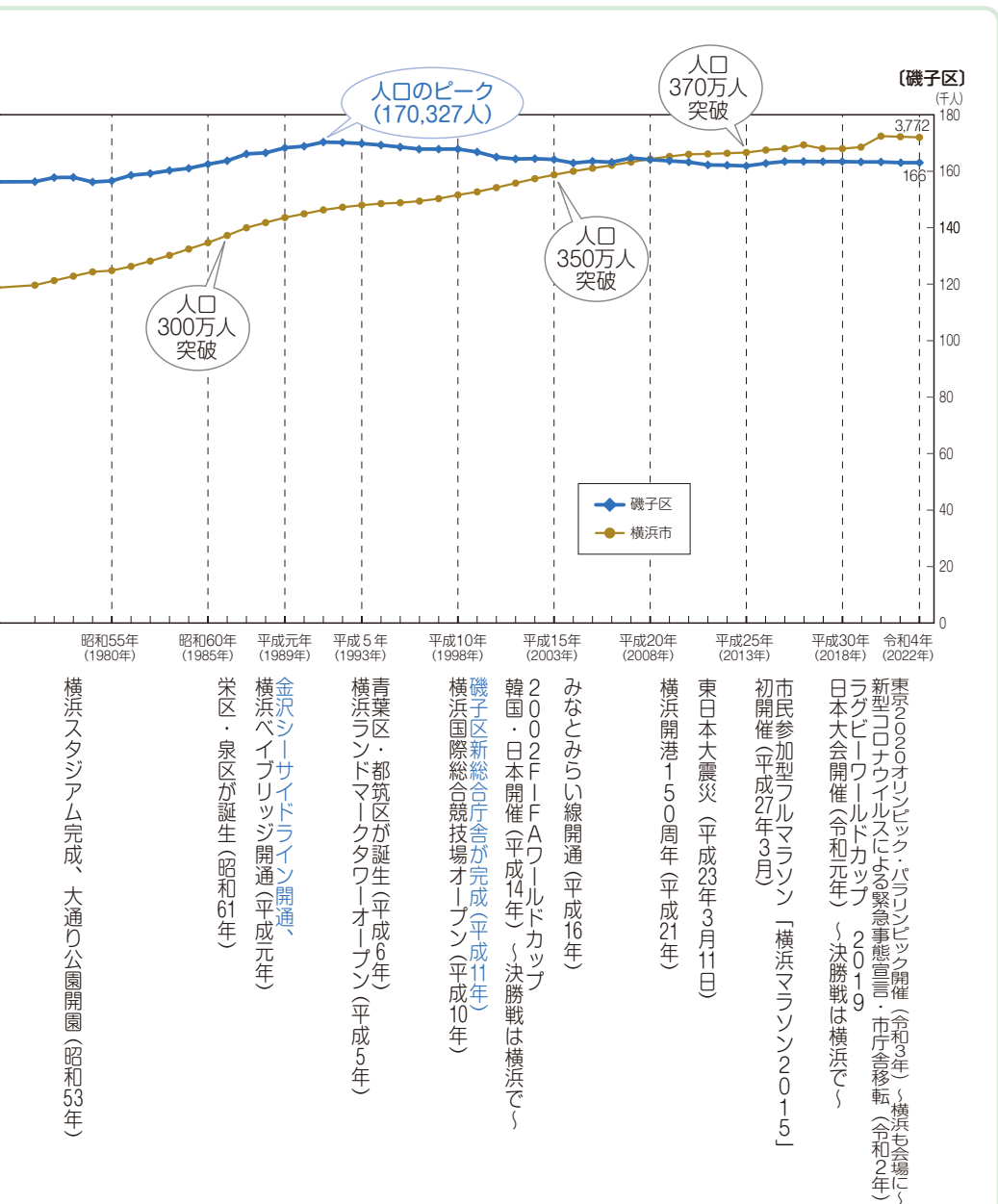
マリントワー完成(昭和36年)

東京オリンピック開催(昭和39年)

港南区・旭区・緑区・瀬谷区が誕生(昭和44年)

石油危機(洗剤・トイレットペーパー不足が深刻化)
 (昭和48年)
 JR根岸線が全線開通、

※昭和2～9年は公簿調査による戸籍人口、昭和10年以降は国勢調査及び推計人口調査によります。
 ただし、昭和5年は国勢調査、昭和16、23年は常住人口調査、昭和19～21年は人口調査によります。



※各年10月1日現在。ただし、昭和2～4年、6～9年は12月31日現在、昭和18年は12月1日現在、昭和19年は2月22日現在、昭和20年は11月1日現在、昭和21年は4月26日現在、昭和23年は8月1日現在。

◆年齢三区分別人口の推移 ～少子高齢化がさらに進行～

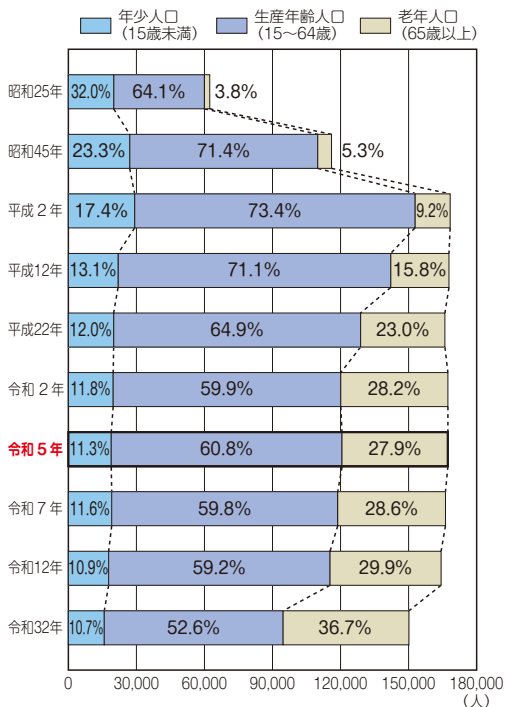
年少人口（15歳未満）の割合は低下傾向で推移し、平成2年には総人口に占める割合が20%を下回りました。

一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加傾向で推移しています。直近では区民の約3.6人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

現在27.9%となっている磯子区の老年人口の割合は、令和12年には約30%、令和32年には約37%となる見込みだよ。

横浜市将来人口推計

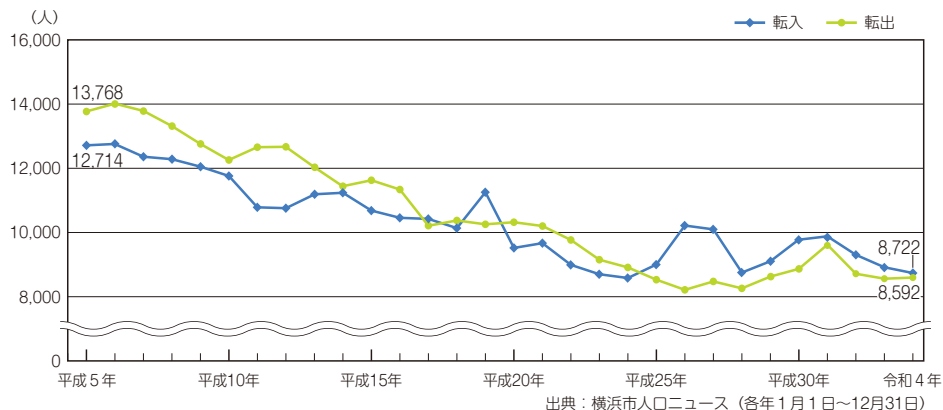
検索



出典：各年国勢調査、令和5年は登録人口、令和7年以降は横浜市将来人口推計
※年齢不詳は除く

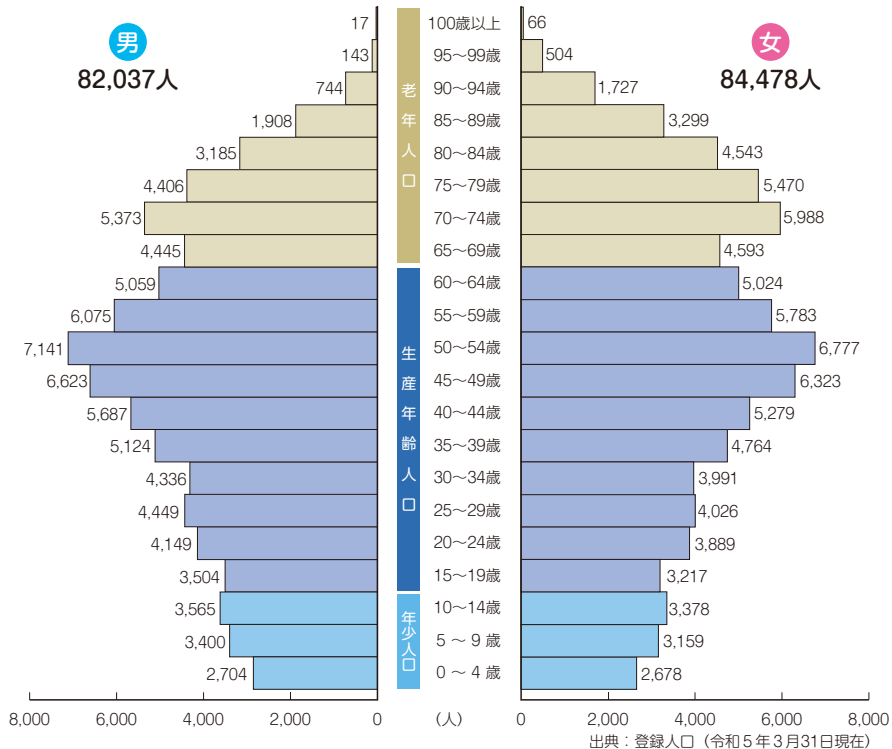
◆人口異動の推移(磯子区)

〈転入・転出の推移〉

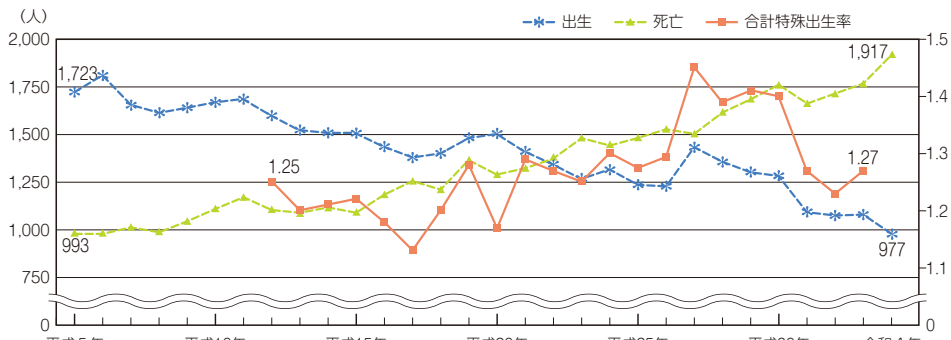


出典：横浜市人口ニュース (各年1月1日～12月31日)

◆人口ピラミッド(磯子区)



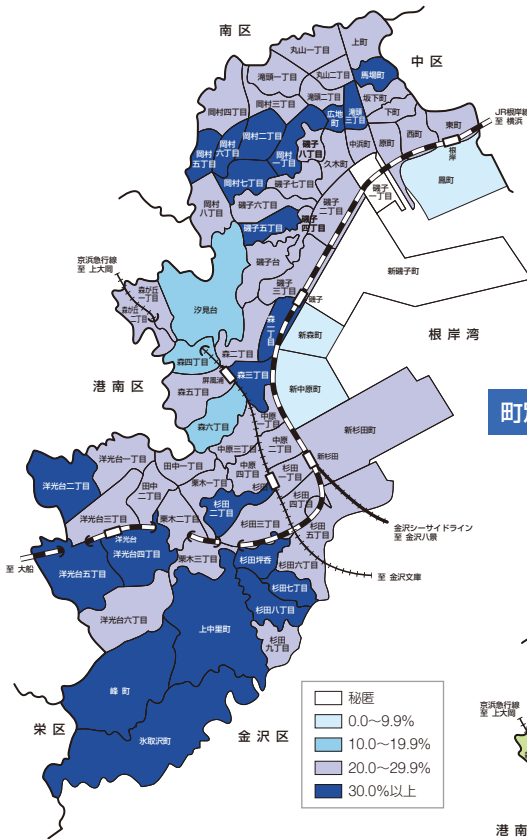
〈出生・死亡の推移〉



※合計特殊出生率は、「15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。

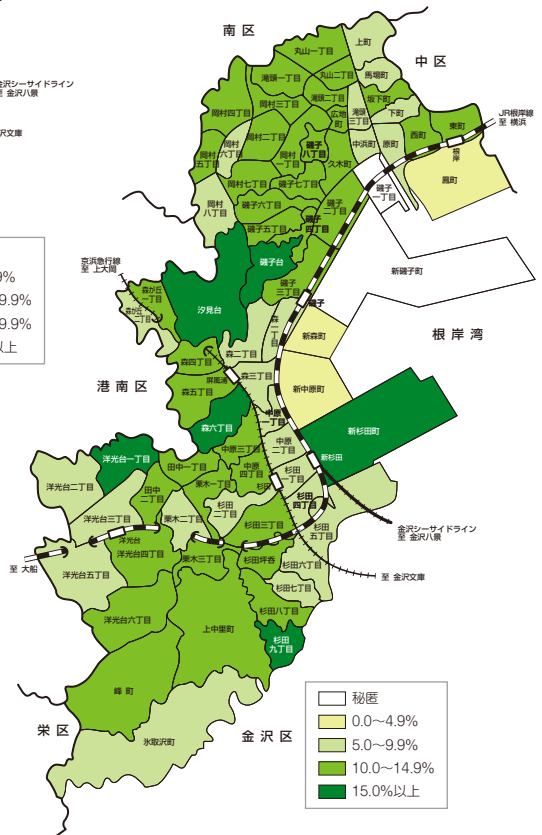
出典：横浜市人口ニュース（各年1月1日~12月31日）

町別高齢化率（65歳以上の場合）



磯子区の高齢化率や年少人口の割合の推移（将来予測を含む）についてはP.7の年齢三区分別人口の推移を御確認ください。

町別年少人口の割合（15歳未満の割合）



出典：登録人口（令和5年3月31日現在）